

2025 年度 岡山大学 (前期)

医学部

試験時間 : 120 分

全問必答

1 以下の問いに答えよ。

(1) 方程式

$$3x + 11y = 1$$

の整数解の 1 つを求めよ。

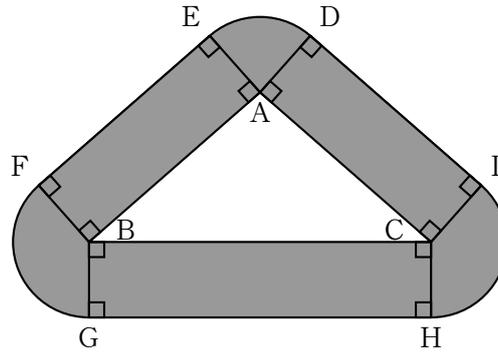
(2) 方程式

$$3x + 11y = 1000$$

の整数解をすべて求めよ。

(3) 自然数 x, y が (2) の方程式を満たすとする。 $|x - y|$ の最大値と、そのときの x, y の値を求めよ。**2** xyz 空間における 4 点 $O(0, 0, 0)$, $A(n, 0, 0)$, $B(0, n, 0)$, $C(0, 0, 2n)$ を頂点とする四面体 $OABC$ を考える。ただし、 n は 2 以上の整数とする。以下の問いに答えよ。(1) 四面体 $OABC$ を平面 $x = k$ で切ったとき、断面として現れる三角形 T_k のすべての頂点の座標を求めよ。ただし、 k は整数で $1 \leq k \leq n - 1$ とする。(2) (1) の三角形 T_k の内部に含まれ、 y, z 座標がいずれも整数となる点の個数を n, k を用いて表せ。ただし、辺および頂点は内部に含まれないとする。(3) 四面体 $OABC$ の内部に含まれ、 x, y, z 座標がいずれも整数となる点の個数を n を用いて表せ。ただし、面、辺、および頂点は内部に含まれないとする。**3** xy 平面上に点 $O(0, 0)$, $A(4, 0)$ と、円 $C: x^2 + y^2 = 4$ 上を動く点 $P(a, b)$ があるとする。各点 P に対して、線分 AP の垂直二等分線を l_P とする。以下の問いに答えよ。(1) 直線 l_P の方程式を求めよ。(2) 直線 OP と l_P が平行であるとき、 P の座標を求めよ。(3) 直線 OP と l_P が交点をもつとき、交点 Q の軌跡の方程式を求め、さらにその軌跡を図示せよ。

4 下図のように、三角形 ABC の外側で頂点または辺上の点からの距離が 1 以内にある、長方形および扇形からなる領域を Z とする。さらに、 $AB = AC = 3$ とし、 $\angle ABC = \theta$ とおく。また、 Z の面積を S_1 とする。以下の問いに答えよ。



- (1) S_1 を求めよ。
- (2) 三角形 ABC の内接円の半径 $r(\theta)$ を求めよ。
- (3) $0 < \theta \leq \frac{\pi}{4}$ のとき、(2) の $r(\theta)$ の最大値を求めよ。
- (4) (2) の内接円の面積を S_2 とする。 $0 < \theta \leq \frac{\pi}{4}$ のとき、 $S_1 > S_2$ を示せ。

2025年度 岡山大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

- (1) $(x, y) = (4, -1)$
(2) $(x, y) = (11k + 4000, -3k - 1000)$ (k は整数)
(3) 最大値: 324 $(x, y) = (326, 2)$

2

- (1) $(k, 0, 0), (k, n - k, 0), (k, 0, 2n - 2k)$
(2) $(n - k - 1)^2$
(3) $\frac{1}{6}(n - 1)(n - 2)(2n - 3)$

3

- (1) $(a - 4)x + by + 6 = 0$ (2) $P(1, \sqrt{3})$ または $P(1, -\sqrt{3})$
(3) 双曲線: $(x - 2)^2 - \frac{y^2}{3} = 1$, ただし 2 点 $\left(\frac{3}{4}, \pm\frac{3\sqrt{3}}{4}\right)$ を除く。
図示は省略

4

- (1) $S_1 = 6(1 + \cos \theta) + \pi$ (2) $r(\theta) = \frac{3 \sin 2\theta}{2(1 + \cos \theta)}$
(3) 最大値: $\frac{3(2 - \sqrt{2})}{2}$ (4) 証明は省略